

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	55	事業名	地域学校協働活動事業			担当部課	教育部教育総務課									
基本情報	第6次総合計画・基本目標	2 子どもが元気に育つまち			決算書 ページ	一										
	行政改革指針・重点課題	一			会計区分	一般会計										
	法定受託事務の有無	無				予算区分(款－項－目)										
	その他(関係計画、要綱等)	無				9-1-1 教育委員会費										
	事業開始の背景、経緯等	地域全体で子どもたちの成長を支えるために、地域と学校が連携・協働する体制づくりを目指し、地域学校協働本部を設立する。 長久手小学校区をモデル校として、地域コーディネーターを核とした体制づくりを目指す。														
事業計画	市民・民間事業者との連携協働の可能性	市民とのみ協働可	(両者と協働不可の場合はその理由)													
	①事業内容 (どんな活動を行うのか)	②アウトプット【活動指標】 (活動の結果、どうなるのか)		③中間アウトカム【成果指標】 (対象はどうなるのか)		④最終アウトカム (市としてどうなるのか)										
	【誰を対象に】 市内小中学校の児童生徒 【目的】 地域人材を活用した子どもたちの学びの機会を創出する。	新しい地域人材を見つけ、本部員数を増加させる。		【今後の目標】 地域学校協働本部の事業に参加する児童が増加する。		地域と学校が連携して、まち全体で子どもたちの成長を支えるようになる。										
	項目	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)								
	事業費(A)	千円	予算 決算	— —	2,867 2,782	3,088 3,062	3,089 3,036	3,170 —								
コスト推移	人件費(B)	千円	決算	—	3,390	3,421	3,435	—								
	総コスト(=A+B)	千円	決算	0	6,172	6,483	6,471	—								
	事業対象の数(D) (R5年度は想定数)	人	—	—	6,263	6,423	6,531	6,570								
	対象あたりコスト(=C/D)の過去3年平均値	千円	—	—	1	1	1	—								
	中間アウトカム【成果指標】の数値設定 (事業の意図を反映する指標)	単位	【現状】 R4年度(2022)年実績		【目標①】 R9年度(2027)年実績	【目標②】 R14年度(2032)年実績										
進捗状況	延べ参加児童数 (指標の設定根拠)	人	21	50	80	(数値目標の根拠:調査名、調査年など出典)										
	延べ参加児童数は、地域と学校の連携が進んでいることを図ることができる指標であるため			地域学校協働本部で実施した事業への参加児童数												
	事業開始からの経緯など	長久手小学校区をモデル校として、地域学校協働本部を令和2年度に設置。新型コロナウイルス感染症の影響により、各事業を中止等にせざるを得ない状況であったが、徐々に事業を開始し始めている。														
振り返り	(活動のエピソード、コメント、特記事項など)		令和4年度の成果 大学生のボランティアと連携して、土曜日に土曜塾を定期開催して、児童の学びの機会を創出した。													
	改善ポイント (改善が必要なこと、改善の方法など)		・地域学校協働本部を新たに設立する学校区を選定する必要がある。 ・宿題教室や土曜塾を実施したが参加児童が少なかったため、内容や募集方法を改善する必要がある。													
	今後 今後の方向性	(事業の成果を高めるための事業の方向性)														
今後	・地域コーディネーターを核として、新たな地域人材の発掘を積極的に行い、学校と地域の協働を活性化する。 ・令和5年度中に2校区目の地域学校協働本部を設立する。															